

《 検診のお知らせ 》

- 各検診の注意事項、別添リーフレット「がん検診を受ける方へ、受けられた方へ」（カラー刷り）をよく読んで受診してください。
- 各検診の受診票の太枠の中をご記入の上、お越してください。
(鉛筆や消えるボールペン等の使用はご遠慮ください)

受診票に記入していただく「整理番号」について

《表面》



《中面拡大図》

こちらの数字が
「整理番号」です。

令和7年度 がん検診等受診券

防府市鞠生町 12 番 1 号

防府 太郎

123456 (整理番号)

昭和 20 年 01 月 01 日 男

◎胃がん検診

検査方法

バリウムと発泡剤を飲んでエックス線撮影し、がんやポリープがないかを調べる検査です。1人あたり7～8分程度かかります。



受診にあたっての注意事項

- 検診前日の夜9時以降は、飲食しないでください。
- 当日は原則絶飲食となりますが、脱水防止のために、必要に応じて検査当日の開始2時間前まで、水に限り100ccまで摂取可能です
(検診当日は薬の服用ができません。毎朝、お薬を服用されている方は、事前に主治医にご確認ください。)

受診前にご確認ください。

- 自覚症状(胃の痛みや不快感、食欲不振、食事がつかえる)がある人は医療機関を受診してください。
- 昨年度、市の胃がん検診(胃内視鏡検査)を受診している人は今年度受診対象外です。
がん検診等受診券の検診の記録欄に「×」印が印字されていないかをご確認ください。
- バリウムを用いた検査になります。
※安全で適切な検査を受けていただくために、裏面の禁忌事項を御確認のうえ、受診票右上の自署欄に自署をお願いします。

胃がん集団検診を安全で適切に受けていただくために、下記の点について確認をお願いします。
確認後は受診票右上の自署欄にサインをお願いします。

【下記の疾患・状態に該当する方は、胃部エックス線検査を受診することができません。】

- バリウムまたは発砲剤のアレルギーがある
- 食べ物や飲み物でむせやすい・誤嚥・嚥下障害がある、または過去にあった
- 検査当日を含め、3日以上排便がない。便秘がひどい。
- 消化管穿孔（胃や腸に穴が開いた）の既往、またはその疑いがある
- 消化管出血（胃や腸からの出血）や下血の既往、または治療中である
- 腸閉塞や腸ねん転、腸の炎症性疾患（大腸憩室炎・潰瘍性大腸炎・クローン病・虚血性大腸炎など）の既往、その疑い、治療中である
- その他胃または十二指腸の疾患で治療中である
- 1年以内に下記の手術（開腹手術・腹腔鏡手術・カテーテルを含む）を受けた
 - ・消化器系疾患 ・呼吸器系疾患 ・循環器系疾患 ・腎泌尿器系疾患
 - ・婦人系疾患 ・脳神経外科系疾患 ・整形外科の手術
- 3か月以内に内視鏡で胃や腸のポリープを除去した
- ストーマ（人工肛門）がある
- 虚血性心疾患で一年以内に発作があった
- 血圧について、収縮期血圧 180mmHg もしくは拡張期血圧 110mmHg 以上である
- 肺が片方しかない
- 脳圧亢進でシャント中である
- 透析中である
- 妊娠中または妊娠している可能性がある
- 心臓病や腎臓病など何らかの理由で水分制限を受けている
- 理解に困難がある認知症
- 体重が 130 kgを超えている（機材破損の恐れのため）
- メニエール病で当日めまいがある
- 麻痺や運動障害があり、寝返りができない
- 自分の力で立つことが困難である

【下記の疾患・状態に該当する方は、

事前に主治医に胃部エックス線検査の受診が可能かをご確認ください。】

- 消化器系疾患で開腹手術または腹腔鏡手術を受け、1年以上経過し、以後初めてバリウム検査を受ける
- 虚血性心疾患で1年以内に発作はないが通院中
- 循環器疾患の手術やカテーテルを受け、通院完了後初めてバリウム検査を受ける
- ペースメーカーを入れている
- 心疾患で通院中である
- 呼吸器疾患の手術を受け、1年以上経過し始めてバリウム検査を受ける
- 喘息で治療中、または通院完了後、初めてバリウム検査を受ける
- 脳神経外科疾患の通院中である
- 腎疾患で透析はないが通院中である
- 糖尿病で、当日治療薬を使用する
- 電波や電気信号を用いた医療機器を使用している